

2017年7月6日
株式会社フィスコ (3807 JASDAQ)

フィスコ仮想通貨取引所の子会社で仮想通貨の自己取引手法を多様化 パフォーマンスは年率換算で110%超えを達成

株式会社フィスコ(JASDAQ 上場、証券コード「3807」、本社:東京都港区、代表取締役社長:狩野仁志、以下、「フィスコ」)のグループ企業である株式会社フィスコ仮想通貨取引所(本社:東京都港区、代表取締役:越智 直樹、以下「フィスコ仮想通貨取引所」)が、自己売買取引子会社にて実施している仮想通貨やトークンによる売買において、実現益が年率ベースで110%超のパフォーマンスを達成したことをお知らせいたします。

フィスコ仮想通貨取引所の自己売買取引子会社では、5月下旬よりビットコインなど仮想通貨およびトークンを対象とした自己取引を開始しました。6月1日から6月30日時点までの実現益(持っているポジションを決済して確定した利益)は、年率換算で112.8%というパフォーマンスをあげています。また、実現益を除いた評価益(時価-平均買付単価に保有仮想通貨およびトークンを乗じた数字)は、投資総額の約50%に達するなど、極めて良好なパフォーマンスとなりました。

また、フィスコ仮想通貨取引所の自己売買取引子会社は、一足先にデリバティブシステムトレードによる取引の実証実験も行なっておりました。デリバティブシステムトレードは、昨年10月28日に発表したグループ会社の株式会社カイカ(JASDAQ 上場、証券コード「2315」、本社:東京都目黒区、代表取締役社長:牛 雨)が構築したシステムを利用し、6月から本格的に運用をスタートしています。リスクを一定程度に抑えながら、利益の獲得チャンスを待つことが可能であるにもかかわらず、6月は年率換算で約19%のパフォーマンスをあげています。

足もとでは運用手法の多様化にも取り組んでいます。全世界でのあらゆる仮想通貨の動きをモニタリングする体制を構築しており、様々な収益機会を積極的に得るためのトレードロボットを随時開発し、運用をスタートさせています。

なお、投資手法の一部は、7月に全国で複数回の開催を予定している「初心者におすすめのビットコイン投資法とは？」と題するセミナーにおいてお伝えしていく予定です。6月29日に開催された第1回セミナーは、満員であったことはもちろん、テレビによる撮影が入るなど、活況のうちに終わることができました。

今後のフィスコグループの仮想通貨ビジネスの進展にご期待ください。

※上記利回りは速報値となっています。監査法人による監査等により変更になる場合がありますのでご了承ください。

【株式会社フィスコ】

会社名： 株式会社フィスコ <http://www.fisco.co.jp/>
所在地： 東京都港区南青山五丁目4番 30 号
設立日： 1995 年 5月 15 日
資本金： 1,242 百万円(2016 年 12 月 31 日現在)
代表者： 代表取締役社長 狩野 仁志
事業内容： 金融機関、投資家、上場企業を支援する各種情報サービスの提供

【株式会社フィスコ仮想通貨取引所】

会社名： 株式会社フィスコ仮想通貨取引所 <http://corp.fcce.jp/>
所在地： 東京都港区南青山五丁目4番 30 号
設立日： 2016 年 4月 12 日
資本金： 112 百万円(2016 年 12 月 31 日現在)
代表者： 代表取締役 越智 直樹
事業内容： 仮想通貨の取引所運営、仲介、ファイナンス、仮想通貨を利用した金融派生商品の開発・運用、仮想通貨の取引所運営に関するシステムの開発・販売およびコンサルティング、その他の仮想通貨の一般サービス

【株式会社カイカ】

会社名： 株式会社カイカ <http://www.caica.jp/>
所在地： 東京都目黒区大橋1丁目5番1号
設立日： 1989 年 7月 14 日
資本金： 6,516 百万円 (2017 年1月 31 日現在)
代表者： 代表取締役社長 牛 雨
事業内容： 情報サービス事業

以上